

2016年1月7日

## 苧田セメント工場 排熱発電設備の稼働開始

宇部興産株式会社

宇部興産株式会社（社長：山本謙）では、苧田セメント工場（福岡県京都郡）で2014年6月から建設を進めておりました排熱発電設備（発電能力12,650KW）（以下「本設備」）が完成し、本年1月より本格稼働しましたのでお知らせいたします。

排熱発電とは、セメント製造工程において排出される熱を利用した発電方式です。

セメントの主要原料であるクリンカーは、石灰石などの原料を1,450℃のキルンに投入（焼成）することで製造します。

本設備では、キルンに投入する前の原料を余熱するためのプレヒーターと、できあがったクリンカーを急冷するためのクリンカークーラーの排熱を利用して発電します。

宇部興産では効率の良い排熱発電を苧田セメント工場に導入し、発電した電力をすべて工場内で利用することで、発電に伴う化石燃料の使用とCO<sub>2</sub>の発生を抑えます。

本設備により、苧田セメント工場ではエネルギー原単位は約15%改善し、エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量も約10%削減（約5万ト/年）する見込みです。

宇部興産のセメント事業は国内3工場体制で運営しています。宇部セメント工場（山口県宇部市）と伊佐セメント工場（山口県美祢市）は、それぞれ自家発電所から電力供給を受けています。

一方、苧田セメント工場は使用電力の大半を購入しており、電力自給率が約10%と低く、電力の安定確保とコスト削減が課題となっていました。本設備により電力自給率は約40%に向上し、コスト削減に大きく寄与することになります。

### <苧田セメント工場の概要>

- 所在地：福岡県京都郡苧田町長浜町7
- 操業開始：1964年
- 従業員数：116人
- 工場敷地面積：20.5万m<sup>2</sup>
- クリンカー生産能力：160万ト

以上



【荻田セメント工場】  
排熱発電設備・建屋



【荻田セメント工場】  
排熱発電設備・タービン発電機



【荻田セメント工場】  
全景